

人生に勝つとは？

karinomaki

## ブローチと指輪

---

19才の時、友人にもらった大切な指輪を失くしました。

心にぽっかり穴があいたようでした。

その時、私は物を大切にすることを痛感しました。

そんなある日、きれいな赤い石のブローチを見つけて、私はそれを自分で買いました。指輪を失くしたことは心からすっかり消えて、ブローチは私の心の宝物になりました。しかし、困ったことがだんだん起きてきました。

## 魔法

---

次第に、ブローチに依存が始まるのです。しまいには、これがないと幸せが逃げていくとまで思いました。これではだめだと思って、私はブローチを箱に封印して、鍵をかけました。

物は、魔法というか、魔力を持つのだと思いました。

## 失くした指輪

---

すると、間もなく失くした指輪が引き出しの奥底から見つかりました。私は、奇跡だと思いました。そして、わかったのです。指輪は私にとっては、苦しみを表し、ブローチは幸せを表すのだと。

私は結婚する意志がありません。だから、普通の女の人にとっての幸せの象徴、恋人からの贈り物としてもらうことが多い指輪は、私にとっての苦しみだったのです。確かに、私に指輪をくれた友人は、そのすぐ前に、私を裏切っていました。私にボーイフレンドができたたん、私を裏切ったのです。

なぜ、指輪が出てきたことが奇跡なのか、はっきりわかりませんが、私は、幸せよりも、苦しみを選んだのだと思いました。私にとって、ボーイフレンドができることは、幸せでは決してないのだと思い知るのでした。

年を重ねた人がよくつけているブローチは、一人で生きていきたい、年を静かに重ねていきたい私の幸せ、しかし、たとえ男の人でも、私は依存したりしない・・・そんな私にとっては、恋に似た関係は苦しみなのです。

## 友達だった人

---

私に指輪をくれた、友達だった人は、私に嫉妬して言いました。指輪は彼氏にもらえばいいでしょう。あげた指輪返して。

でも、私はその友達にありえないくらいの暴言を吐き、言いました。「私はあなたみたいに、恋に依存しない。その人とはいい意味で支えあうことはあっても、本当の恋かどうかなんて、二の次。その考え方を軽蔑するのなら、あなたはもう私の友達じゃない。」

## 幸せ

---

幸せとは何でしょうか。人生に勝つことだと思います。私は、指輪を捨てました。苦しいだけの恋・・・でも、叶わない恋のほうがむしろ幸せだと思って。

この世界でいちばん醜いのは嫉妬です。友達は叶わない恋をしていて、相手の奥さんに嫉妬しながら生きています。その嫉妬が、今度は私に向けられました。私は恋よりも、何よりも、自分と、人生に勝つことが目標です。人に嫉妬してしか生きられない友達はいらない。

私は封印したブローチを箱から出して、髪どめに接着剤でくっつけました。私は、恋に依存しない自分を、人生に勝っていると思えました。ブローチに依存する気持ちも、消えていました。